

山本かずひと



令和6年度の予算編成方針

毎年8月は、新年度の予算編成方針が決定されます。そして年明けの2月には具体的な中身が固まり、3月の予算議会で議決される流れとなります。それでは、令和6年度の予算編成方針における5つの取組みについてご報告させていただきます。

(1) 輝く明るい未来に力強く踏み出す施策の展開について：新たな時代において、区民全ての世代を支える施策を展開し、区民の利便性と行政サービスの向上を図るため、DXを推進する予算を編成します。(2) 課題解決に向けた戦略的な施策の展開について：文の京総合戦略に掲げる主要課題の解決等に邁進するため、現場の視点を重視し質の高い行政サービスを提供するための予算を編成します。(3) 重点施策の実施について：ア) 主要課題の解決につながる施策 イ) 持続可能な行財政運営を推進する施策 ウ) その他重要性の高い施策、以上優先度の高い施策として展開する予算を編成します。(4) 枠配分方式による予算編成の実施に

ついて：コロナ禍においては、感染症対策と社会経済



活動の両立を優先する必要があったため枠配分方式による予算編成を休止してきましたが、コロナが5類に移行されたことで再び枠配分方式による予算編成を行うことと致しました。(5) その他として：多額の費用を要する公共施設整備等については、各種基金や起債による財源確保を計画的に行います。最後に、区民要望や区議会の動向を的確に把握し、各部において十分検討した上で納税者の視点を大切にしたい予算を編成します。

キャッシュレス決済ポイント還元事業について

昨年続き、今年も文京区商店街連合会が実施するキャッシュレス決済によるポイント還元事業補助を行うこととなりました。実施期間は2段階に分かれていて、第一弾が11月1日～11月15日、第二弾が11月16日～1月10日となっております。ポイント還元率は、第一弾が10%、第二弾が20%となります。今回の第二弾の20%は、昨年の30%から10%引き下げられた形となりましたが、実は、昨年の30%は国と都の財源が充当されていたのですが、今回はそれが予算化されないこととなった為、文京区が独自で20%の財源を予算化することと致しました。上限還元ポイント合計は、第一弾が5,000円、第二弾が20,000円となります。対象店舗は、第一弾は大型店を含む区内商店、第二弾は大型店を除く区内商店となります。昨年の経済波及効果は約2.6億円となりましたが、今年は何れくらいの数字になるか、是非多くの皆様にご活用頂き区内商店を盛り立てて頂ければと存じます。